―橘　三朗―

企画・製作＝未悠征株式会社 TEL.03-5524-6131

企業の志魂（こころ）

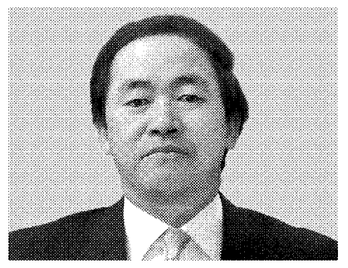
歴史に人あり　人に志あり　企業に魂あり

2013年　会津魂と幕末英雄譚

㈱河野製作所

代表取締役社長　**河野　淳一**氏

千葉県市川市賀谷2・11・10



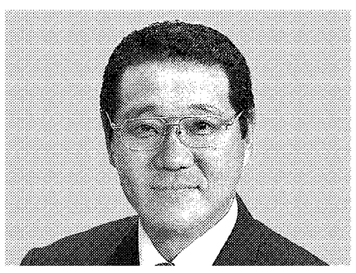
松平容保は「まるで新を背負って火事場に入るようなもの」という京都守護職を拝命。国家老を始め周囲は一同にして辞退を勧めたが、会津藩には藩祖・保科正之（家光の異母弟）が定めた〝徳川将軍家への忠節〟という家訓があった。土道の精神を示した最後の大名たる容保の生き様である。

血管縫合を始め顕微鏡下で行なう微細外科手術用縫合針で圧倒的シェアの業界パイオニア。年々高度になる医療技術を積極的に吸収し、世界トップレベルの品質とサービスを目指す姿は、まさに社会への〝忠節〟といえよう。同社の繊細な技術によって、より微細な組織や血管の縫合が可能になるなど貢献度は高い。

信和産業㈱

代表取締役社長　**伊東　学**氏

東京都渋谷区渋谷1・8・1



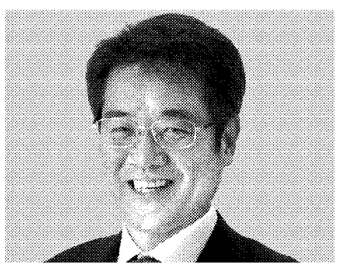
西郷頼母は容保の京都守護職就任に断固反対した気骨の家老。「まるで薪を背負って火事場に入るようなもの」と諫言するも受け容れられず、会津藩は倒幕派の攻撃目標にされた。たとえ賊軍となろうとも決してひるむことなく、「ならぬことはならぬ」と信念を貫き通した傑将である。

プリント基板の設計、実装などを始めとする電子部品の総合商社。産業機器を中心に設計、開発、基板製作や部品調達から製造、検査まで、トータルでコーディネートできる技と知と信こそがその真髄だ。また2010年には電子機器のハード、ソフト、機構をe-1STOPで開発、設計、試作する㈱仁和ソリューションズを設立した。

㈱テンダホールディングス

代表取締役　**小林　謙**氏

東京都豊島区西池袋1・11・1



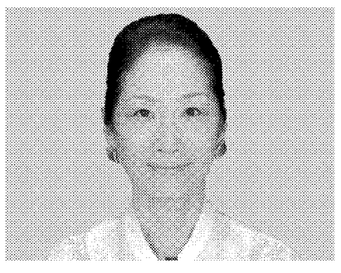
山本覚馬は佐久間象山の塾で蘭学と洋式砲術を学び、軍備の近代化を進めた八重の兄。禁門の変で失明同然となり鳥羽・伏見の戦の後、薩摩屋敷へ幽閉された時に口述筆記の経世論を執筆し新政府に建白した。釈放後、京都府会初代議長や京都商工会議所会長を務め京都復興に尽力。

ソフトウェア開発で進境著しい㈱テンダ』を中核としたグループ企業を統括。中国の現地法人も併せて、人材と製品のグローバル化に余念がない。技術とサービスの文武両道カンパニーを目指し、ホールディング企業ならではの先見性、企画力、実行力でさらに高い成長軌道を描く「人とソフトウェアの創造」拠点だ。

㈱川村インターナショナル

代表取締役　**川村　みどり**氏

東京都新宿区神楽坂6・42



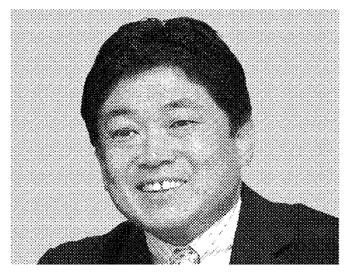
山本八重は鶴ケ城で七連発銃を手にし、雄々しく、凛々しく、勇敢に戦い「幕末のジャンヌ・ダルク」と呼ばれた。維新後、京都へ移って英語を学び洋装洋髪の婦人に。その大胆で潔い生き方を夫・新島襄は「ハンサム」と称している。同志社英学校の運営も卓越の先見と行動力を基に助力する。

ローカリゼーション、ドキュメント翻訳、DTP等、「翻訳のハンサム企業」。国際化社会の中で日本企業が世界へ進出し、また世界の企業が日本での市場展開を図る際の強力な武器が翻訳だ。その武器（多言語）に精通し、高い技術力と品質を基として育んできた信頼は厚い。向上心と誠実さも成長のゆえんである。

アシザワ・ファインテック㈱

代表取締役社長　**芦澤　直太郎**氏

千葉県習志野市茜浜1・4・2



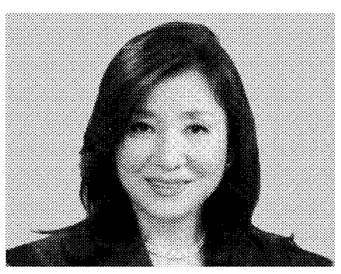
飯沼貞吉は白虎隊士として奮戦するが戸ノ口原で惨敗。仲間とともに飯盛山で会津城が落城したと思い込み、喉に刀を突き刺して自害を試みた。だが唯一人奇跡的に一命を取りとめ、維新後、電気通信技師となって産業の復興に貢献。白虎隊の証言者としてその志を伝えている。

明治36年創業の微粉砕・分散機「ビーズミル」専業メーカー。ナノテクノロジーを支える微粒子技術の代表格であり、その歴史、信用、実績とも申し分ない。創業100年を機に、前身の「アシザワ株式会社」から事業を分離。それから10年を経て、着実に企業力は強化された。新たな未来へ、技術と志の伝承を図っている。

㈱プラスパ

代表取締役　**荻原　順子**氏

東京都中野区本町6・13・8



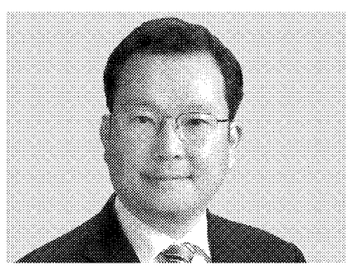
照姫は松平容保の義姉。会津戦争で籠城戦に参加した折、藩士の妻や娘たちとともに負傷者の看護、炊事、弾丸の製造にあたり、陣頭指揮を執った。姫君でありながら藩校日新館の「ならぬことはならぬ」という精神に心魅かれ、むしろ藩士以上に会津魂を踏襲していた名君の器だった。

仕事のストレスや人間関係の悩みなど、現代人は想像以上に疲れている。その緊張感をほぐしホッとできる第三の場「サードプレイス」を提供しているのが同社だ。精神神経免疫学の理念に基づいた臨床心理カウンセリングや呼吸法の指導などによりプラス思考を習慣化。健康的で明るい人生創造へ導く名君だ。

㈱Minoriソリューションズ

代表取締役社長　**長澤　信吾**氏

東京都新宿区西新宿2・4・1



梶原平馬は会津藩最後の家老。柔軟明晰な頭脳を活かし、藩政の中核として活躍した俊英だ。鳥羽・伏見の戦に敗れた後は、江戸で軍備の調達に奔走し、奥羽越列藩同盟の中心人物として働いている。越後長岡藩家老・河井継之助、桑名藩主・松平定敬らとともに徳川への義を貫いた。

金融業、通信業、製造業を中心に、IT技術によって事業の発展を支えるプロフェッショナル集団。業務の遂行だけでなく、企業スローガンである『+One』に準ずる一段高い視点で物事を捉えた思考から提供されるサービスの評価が高い。まさに〝柔軟明晰な頭脳〟を活かしたソリューションパートナーといえよう。

木寅税務会計事務所

所長　**木寅　雅之**氏

東京都渋谷区東3・16・5

新島襄は上野国（群馬県）安中藩士。早くから西洋の学問に触れ、アメリカの新知識や聖書に感銘を受けて密かに出国した。約十年に及ぶ海外留学で教育の重要性、その制度改革の必要性を実感し、キリスト教主義による大学設立を訴えた。八重とは理想のパートナーでもあった。

起業支援等のサービスをワンストップで展開。税理士を中心に各専門家とのネットワークを活かし、経営者の懐に入って共に考える基本スタイルを一貫している。大手都市銀行向け融資業務に携わった経験を武器に中堅・中小企業の伸展をサポート。「かゆいところに手が届く」理想のパートナーとして信頼が厚い。

㈱Chrysmela

代表取締役　**菊永　英里**氏

東京都文京区関口1・9・7

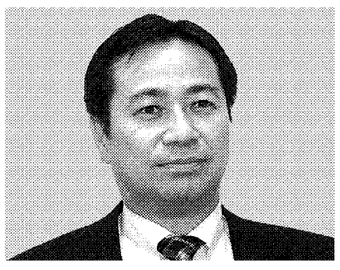
中野竹子は江戸の会津藩邸で生まれた。容姿端麗、文武両道の才女で、戊辰戦争が始まると会津城下に戻り、学問や薙刀を藩士の子女に教えている。官軍が城下に侵攻した際、娘子軍を結成して奮戦。自ら先頭に立っての武芸に、敵味方双方から「さすが会津の女性よ」と称賛されたという。

今最も注目されている女性起業家のひとり。開発したピアスキャッチ『クリスメラキャッチ』及び『ピアスロック』は、アクセサリーの付属品としては異例のヒットを遂げ、「日本から、世界規模の価値を創出したい」という目標ももはや夢ではない。特許取得の奥義を極めたピアスキャッチで上昇軌道が続きそうだ。

㈱新光電気

代表取締役社長　**花村　明広**氏

東京都千代田区外神田4・11・2



秋月悌次郎は日新館から幕府の昌平坂学問所に学んだ俊秀で、九州など西国諸藩を遊歴。会津藩が京都守護職に就くと公用方として諸藩との交渉を担った。薩摩の高崎左太郎と諮って薩会同盟を結び、八月の政変を成功させた立役者でもある。会津城降伏の際には使者を務めている。

光学機器用ランプ、スタジオ照明用ランプ、LEDランプ・LED直管蛍光灯からレンズ拡散板／LSD、水・空気・表面殺菌ランプ等まで、あらゆるランプと灯りの業界第一人者。上昇志向と感謝の心を常に忘れない…それが昭和22年設立以来の精神だ。オンリーワン企業としてさらなる飛躍と成長に淀みはない。

㈱アイグローブ

代表取締役　**宮城　勤**氏

東京都中央区銀座7・17・12

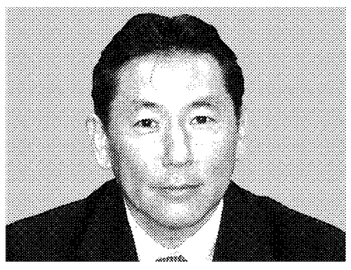
山川大蔵は国家老・山川家の嫡男。藩主・松平容保が最も頼りとした会津藩きっての秀才だ。ロシア留学を経て攘夷の非を悟り、開国の意思を強く持った。会津戦争では、敵に包囲された鶴ヶ城に会津の伝統芸能「彼岸獅子」を舞いながら入城するという離れ業を演じ、敵味方の称賛を得た。

インターネット社会における新たな価値の創造を使命とし、インターネットビジネス事業とSI事業を展開。ビジネスの領域を超え、人や環境を常に意識しながらITがもたらす真の豊かさの実現を目指す姿勢が称賛を得る先覚派だ。人と人とがコミュニケートすることで感動が生まれるサービス構築を目指す。

カーゴテック・ジャパン㈱

代表　**鈴木　利哉**氏

神奈川県横浜市港北区新横浜2・13・13



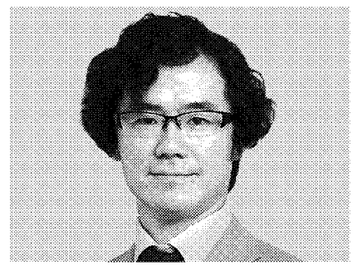
山川健次郎は山川大蔵の弟で兄に劣らぬ知恵者であった。会津藩降伏後、アメリカに留学し、エール大学で物理学を学ぶ。明治八年に帰国し、東京開成学校（後の東京大学）で教授補となり日本人初の博士号を取得。東京帝国大学、京都帝国大学、九州帝国大学の総長を歴任している。

北欧を中心に世界各国に荷役ソリューションを提供している『Cargotec社』日本深耕拠点。有力な荷役ブランドであるヒアブ部門として、世界の荷役機械マーケットをリードする多様な製品とソリューションを紹介している。全国に販売会社を有し、ネットワークのサービス工場によるアフターサービスも心強い。

㈱シャノン

代表取締役　**中村　健一郎**氏

東京都港区虎ノ門1・16・16



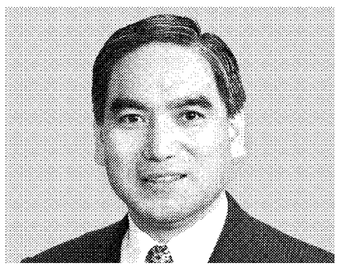
柴五郎は「賊軍」となってしまった会津の出身でありながら、陸軍大将にまで累進した不屈の軍人。維新後、一家は斗南藩（青森県下北半島）に移住し、極寒の地での貧困生活に耐えた。のちに義和団の乱の防衛戦で卓越の軍功を挙げ、欧米各国からも勲章を授与されたという苦労人だ。

マーケティングコンセプトとテクノロジーを融合させることで、煩雑な作業や無駄を解消し、マーケティング活動をより戦略的、創造的にすることを目指している開明派企業。時代に最適な独自のマーケティングソリューション提供こそが、その真骨頂であり多数の企業へのイベント・マーケティング支援が好評だ。

㈱高橋賃金システム研究所

代表取締役　**高橋　邦名**氏

東京都八王子市寺町1・1



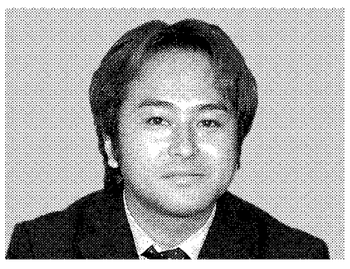
柴四朗は柴五郎の実兄で、『東海散士』の筆名をもつ小説家。会津戦争で亡国の士となった自身の体験を原点として、『佳人之奇遇』なる政治小説を書き大きな反響を呼んだ。六年間の米国留学で得た知識を活かして活躍の場を広げ、衆議院議員となって会津の発展にも貢献している。

賃金体系、人事評価制度、労務管理制度の策定から定着、人材（人財）の開発・育成という『活人コンサルティング』をテーマに活動。経営者の視点から捉えたキメの細かい指導と提案力には定評のあるところだ。長い経験の中から培った豊富な知識を活かし、地域や取引先企業の発展と成長を「経営人事」で支えている。

㈱ピーバンドットコム

代表取締役　**田坂　正樹**氏

東京都千代田区五番町14



遠藤敬止は会津藩士として敗戦を味わい、その後勉学に励んで第七十七銀行頭取にまでなった努力の人。明治新政府より鶴ヶ城跡地の払い下げを受けた際、私財を投げ出してこれを落札し、元藩主の松平家に献納している。のちに松平家から市に譲渡されて現在の鶴ヶ城が留められた。

プリント基板の製造・設計・実装までを請け負うインターネット通販で国内トップシェアを誇る「P板.com」を運営。発注者との意思疎通を可能にするアプリケーションの自社開発により短納期かつ低コストを実現、豊富なメリットで多くの支持を得ている。昨年設立10周年を迎え、社名も新たに更なる高みを目指す。

ウェアポータル㈱

代表取締役　**加藤　千佳**氏

埼玉県川口市栄町3・2・20

山川二葉は家老・梶原平馬に嫁ぎ、籠城戦では多くの婦人たちを励まし家老の妻として模範となる。維新後、東京女子高等師範学校の生徒取締として出仕、舎監や教諭を務め教育に尽くした。その教育方針は男女同権ではなく、「女子は女子の生きる道がある」という武士気質の教えだった。

海外パートナーの開発したソフトウェア製品のローカライズ、国内販売、製品サポートと、その構築・運用サービスに奮闘。パッケージを「コストを抑え、敏速に汎用的に利用できるもの」と位置づけ、世界中の優れた製品を発掘している。ゆえにパッケージを超えた付加価値の提供を目指し、日常の研鑽に余念がない。